

旭川市立神楽中学校便り

神楽

発行 旭川市立神楽中学校
住所 旭川市神楽6条12丁目
TEL 61-7196
発行日 令和2年4月30日
No.1

『主体性』を意識した生活を目指そう(入学式の式辞より抜粋)

校長 江口 貴彦



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。109名の新入生を迎え、神楽中学校の新たな一年がスタートしました。本年度は、神楽小学校・神楽岡小学校からだけでなく、他の多くの小学校より一年生が入学してきました。お互い顔も名前も知らない者同士が、出会うのは、この広い地球上での出会いと考えると、奇跡的とも言えます。互いを尊重し合い、励まし合いながら友人関係を築いてほしいと思います。

小学校よりも一歩大人のステージに上がる皆さんには、新入学説明会でもお話ししましたが「時を守り、場を整え、礼を正す」を合い言葉に、一日も早く神中生としての「自覚」をもって過ごすことを期待します。そして神中のよき伝統を、先輩方とともに皆さんにも引き継いでほしいと思います。

中学校は、小学校の学びを土台に、さらに社会性を身に付け、義務教育の集大成をする場です。特に今年の神中生には「主体性」、つまり自分の意志・判断によって、責任をもって行動できるようになることを目標としています。入学にあたり皆さんに、三点、心がけてほしいことをお話します。

一つめは、「じっくり考え自ら行動できる生徒」になってほしいということです。学習でも行事でも、ただやればよいというわけではなく、その内容や取り組み方が大切です。目標や目的達成のために、効果的な方法は何なのかをよく考えてから行動してください。

二つめは、多くの人たちとかかわり、磨き合ってほしいということです。学校は集団生活を学ぶ場です。中学校では新たな友人ができるだけでなく、教科担任制となり多くの先生とかかわったり、部活動では先輩や後輩ともかかわったりします。多くの人たちの考えにふれながら、生徒と生徒、生徒と先生方が信頼し合い、互いの絆を深めて「思いやりにあふれ、いじめのない学校」にできるよう、自分自身を高め、みんなで力を合わせていきましょう。

三つめは、心と体を鍛えてほしいということです。中学時代は一生のうちで心も体も最も成長する時期になります。丈夫な心と体は、自分自身の大切な財産です。向上心を持ち、自分の可能性に挑戦し、強い身体と強い心を育てられるよう、多くの経験を積んでください。そして卒業の時には、あるいは一年後に、「自分は頑張った」と胸がはれるようにしてほしいと思います。

中学校での三年間は、時には長く、時には短く感じたりすることもあると思いますが、中学校の先生方や先輩方、そして保護者・地域の方々は、一年生の皆さんがすばらしい中学校生活を送ることができるよう、温かく見守り、支えてくれますので、どうぞ安心してください。

新一年生の皆さんの今後の活躍と、健やかな成長を期待しています。

令和2年度の学校経営計画

本校の教育目標

未来を主体的に切り拓くたくましさ豊かな情操を培う
・誠実で思いやりのある生徒
・夢の実現に向け努力する生徒
・心身ともに鍛え合う生徒

今年度の重点目標

生徒が主体的に活動し、成長を実感できる学校
～知を巡らせ、心を耕し、体を鍛える生徒の育成～

経営の重点

- 1 地域とともにある学校づくりの推進
- 2 全教職員の経営参画を図る組織マネジメント
- 3 教育目標の具現化を目指すカリキュラム・マネジメント
- 4 教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係を育てる学年・学級経営
- 5 キャリアステージに応じて求められる資質を高める研修活動
- 6 安全で潤いのある教育環境整備
- 7 組織で取り組む危機管理
- 8 適切で効率的な運用を図る学校事務
- 9 学校の活性化を図る学校職員人事評価



指導の重点

- 1 主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導
- 2 豊かな心を育む道徳教育
- 3 個と集団のよさを実感する特別活動
- 4 主体的な探求活動を促し、豊かな「学び方」「生き方」を育てる総合的な学習の時間
- 5 自己をよりよく導く生徒指導
- 6 一人一人のニーズに応じた特別支援教育
- 7 よりよい生き方を目指すキャリア教育
- 8 生命を尊び、自ら心身を鍛える健康・安全教育
- 9 心身の健全な発達を促し、自主性や主体性を育む部活動

